

平成 21 年 4 月 16 日現在

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18320120

研究課題名(和文) 近世ヨーロッパにおける宗教・政治・商業空間の構造転換

研究課題名(英文) Changes in religious, political and commercial spheres in early modern Europe

研究代表者

西川 杉子(NISHIKAWA SUGIKO)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：80324888

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・西洋史

キーワード：西欧史

1. 研究計画の概要

本研究は、近世ヨーロッパにおける政治社会における宗教の位置づけの変化、国家領域を超えた人や集団の結合が領域国家の政治的歴史展開のなかでどのような役割を果たしたのか、商業空間の急激な拡大とその質的变化という、三つの歴史的展開を重視している。そしてこれらの展開を一国史の枠組みに基づいた内的発展に限定してみるのではなく、国家領域にとらわれない宗教的・政治的・経済的ネットワークの観点から具体的に検討することによって、近世ヨーロッパ史を新たに構想しようとするものである。10名の研究分担者・連携研究者・研究協力者の協力を得て、ヨーロッパの多地域からの視座を生かしながら、総合的なヨーロッパ像の把握に務めている。

2. 研究の進捗状況

2006年から2008年にかけては、研究代表者・西川および研究分担者・勝田俊輔・大峰真理(2008年のみ手続き上の理由で連携研究者)はこれまでの個別研究テーマを推進し、総合研究をまとめるために、年に6～8回にわたる緊密な討議を重ねて研究内容の連携をはかった。その際に、ナント王令の廃止と名誉革命がおこった1680年代を、近世ヨーロッパにおけるひとつの転換点とみることでできないかと着目し、この10年間を中心に総合的なヨーロッパ像の把握に務めている。具体的には、西川は主にイングランドを中心とした出版およびプロテスタント・ネットワーク、勝田はアイルランドとイングランドの政治関係とジャコバイト・ネットワーク、大峰はフランスを中心としたジャコバイト・ネッ

トワークと商業ネットワークを主に重点的に分析を行ってきた。その過程で、1680年代の複数のネットワークの結節点となったオランダの重要性を再認識したので、オランダ史の研究者3名、また東欧からの視座を学ぶためにポーランド史の研究者を招き、それぞれの問題関心から1680年代に関する報告をきいて議論を重ねた。さらに、コスモポリタンなネットワークを分析のツールとして用いる可能性について、17世紀ユグノー史の専門家ロビン・グイン、名誉革命史に関する代表的研究者トニー・クレイドン、ダヴィド・オネキンク、商業ネットワークの研究者ルイ・カレンを招聘して、研究会5回、シンポジウム1回を開催した。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

1680年代を分析の中心に据える事で、多地域の研究比較も焦点を絞る事ができ、おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

研究が英・仏・蘭が中心になっているので、ドイツ史、東欧史、南欧史研究からの視座を得る必要があるだろう。また、宗教・政治・商業の領域において、変化に時差があることもより具体的に把握する必要があると思われる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

1. Nishikawa, Sugiko, 'Protection des intérêts protestants: les activités de soutien des anglais en faveur des orangeois',. *Mémoires de l'Académie de Vaucluse*. 9eme Série, 4. pp. 156-164. Académie de Vaucluse. 2008. (審査無)
2. 西川杉子「森の彼方のコレギウム 近世プロテスタント・ネットワークをめぐって」『創文』490号、2006年、pp.14-18. (審査無)
3. Kathsuta, Shunsuke, 'The militia interchange between Great Britain and Ireland', *Migration and Identity in British History: Proceedings of the fifth Anglo-Japanese Conference of Historians*, University of Tokyo Kyozai Shuppan, 2006, pp. 160-171. (審査無)

〔学会発表〕(計 3 件)

1. 勝田俊輔「トニー・クレイドン博士とダヴィド・オネキンク博士の発表に対するコメント」国際シンポジウム「ヨーロッパ近世における1680年代の再検討 名誉革命からの射程」2009年3月21日、明治大学駿河台キャンパス・リバティータワー
2. 大峰真理「トニー・クレイドン博士とダヴィド・オネキンク博士の発表に対するコメント」国際シンポジウム「ヨーロッパ近世における1680年代の再検討 名誉革命からの射程」2009年3月21日、明治大学駿河台キャンパス・リバティータワー
3. 西川杉子「長期の宗教改革運動 17・18世紀の展開」シンポジウム「ジャン・カルヴァン生誕500年記念に向けてーヨーロッパ宗教改革の連携と断絶」2008年11月29日、日本女子大学新泉山館

〔図書〕(計 6 件)

1. Nishikawa, Sugiko, *Daniel Ernst Jablonski: Religion, Wissenschaft und*

Politik um 1700 (Wiesbaden:

Harrassowitz Verlag. 2008), 共著、pp.

151-168.

2. 西川杉子『歴史的ヨーロッパの政治社会』(山川出版社、2008年)共著、pp.229-266.
3. 勝田俊輔『歴史的ヨーロッパの政治社会』(山川出版社、2008年)共著、pp.480-515.
4. 西川杉子『信仰と他者』(東京大学出版会、2006年)共著、pp.145-181.
5. 勝田俊輔『信仰と他者』(東京大学出版会、2006年)共著、pp.182-222.
6. 大峰真理『フランス東インド会社とポンデイシエリ』(山川出版社、2006年)共訳、130pp.